

2021年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年3月18日

報告者	学科名	看護学科	職名	准教授	氏名	佐藤美恵
研究課題	オンライン教育ツールを用いた看護技術の授業に対する学生および教員による評価					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表	佐藤美恵	看護学科・准教授	基礎看護学	総括・データ収集・分析	
	分担者	高林範子	看護学科・助教	基礎看護学	データ収集・分析	
研究実績の概要	<p>【目的】 看護技術教育用オンライン教材を購入して授業に導入し、演習科目の学習の質を可能な限り確保するとともに、学習成果や課題を、学生および教員双方の視点から明らかにする。本年度は、オンライン教材に対する学生からの評価を明らかにした。</p> <p>【方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象 対象は、看護学科の学生のうち本研究に同意が得られた者とした。 方法 <ol style="list-style-type: none"> 看護技術教育用オンライン教材 看護技術教育用オンライン教材は、エルゼビア・ジャパン株式会社のナーシング・スキルを使用した。この教材には約400の看護技術動画が収録されている。 授業および自己学習での使用 授業における使用の有無は科目担当者に一任した。 データ収集方法 データは質問紙調査により収集した。調査内容は、動画視聴前後の理解度や学習への満足度等とした。自由記載欄も設けた。理解度は①から④の4段階で尋ね、理解できた場合に得点が高くなるように点数化した。 倫理的配慮 看護技術教育用オンライン教材の使用の有無にかかわらず、調査への協力は自由意思によるものであること、調査への協力の有無による利益や不利益はないこと等を説明した。本研究は、岡山県立大学倫理委員会の承認を得て実施した(番号21-10)。 					

※ 次ページに続く

研究実績
の概要

【結果】

2021年7月の導入から2022年2月までのアクセス数は2876件であった。質問紙調査の回収数は69件であった。動画視聴前後の理解度と満足度を図1に示す。すべての項目において動画視聴前より視聴後の理解度が高く、学習の満足度も動画視聴前より視聴後の方が高かった。自由記載欄には、「いつでもアクセスできてとても便利」、「分かりやすい」、「動画を視聴することで理解しやすくなった」等の記載があった。

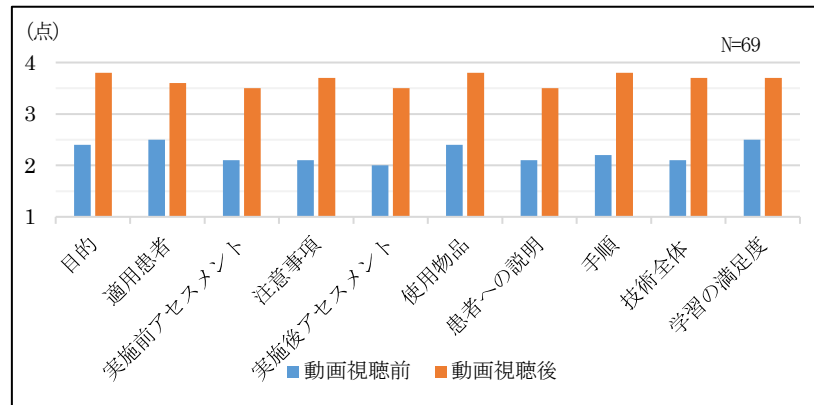


図1 動画視聴前後の理解度と満足度

【考察】

学生の評価から、教材の有効性が示された。使用を継続しながら、より効果的な使用方法を検討する。

成果資料目録